

放射能対策求め
6千人分の署名
市議会に市民団体
小樽市内の母親らで
つくる「小樽・子ども
の環境を考える親の
会」(神聡子共同代表)
は、子どもたちを放射
能から守る対策の確立
を求める署名6151
人分を、小樽市議会の
横田久俊議長に提出し
た。

定ヨウ素剤の家庭配布
及び備蓄」などを求め
る陳情を9月に市議会
に提出、継続審査とな
っている。
署名は「市民の声を
結集したい」と10月か
ら開始。市民を対象に、
会員が草の根で集め、
6千筆を超えた。5日
に署名を提出した神代
表は「子どもの命を守
ってほしいという当た
り前の要望を受け入れ
てほしい」と訴えてい
る。

放射能から子を守る対策確立を 市民団体が6,151筆の署名

(2011/12/06) 小樽ジャーナル

小樽市議会で継続審査となっている放射能から子どもを守るための対策の確立を求める陳情書を提出した「小樽・子どもの環境を考える親の会」(神聡子・三ツ江真理子共同代表)は、12月5日(月)、市民団体「陳情を引き延ばしせず早く対策を」と6,151筆の小樽市民の署名を添えて再度陳情した。

同会が提出した「原発からでる放射能から子どもを守るための対策を確立してください」と題した陳情は、原発事故ハザードマップ作成、放射能測定器の購入、安定ヨウ素剤の家庭配布及び備蓄の3点を求める内容。「原発の稼働が続く限り、子どもたちの放射能汚染の心配はぬぐえません。万が一の時、子どもを放射能から守ることを第一に考え、早急に対策を立ててください」としている。